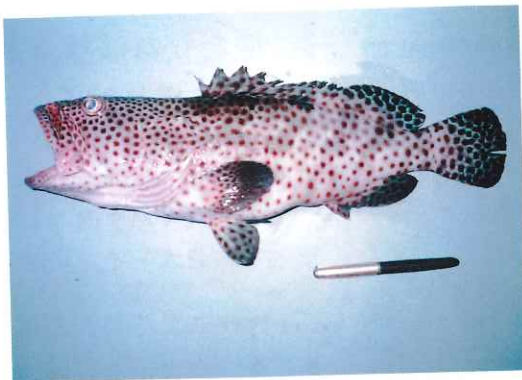




ねばり

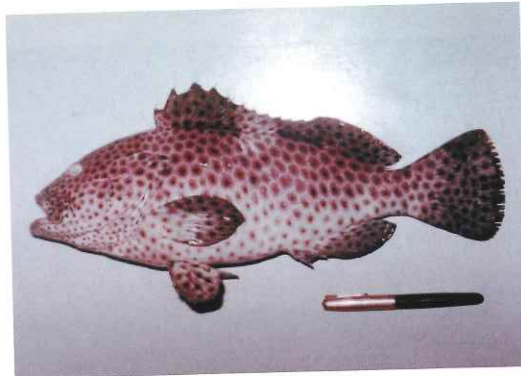
ヒトミハタ

*Epinephelus tauvina*

ハタ科マハタ属

分布：南日本：～インド洋

体高は低くスマートなハタである。背鰭棘後方基底に黒色斑があり、暗褐色点が体および各鰭に密布している。体長は 50 cm に達し、美味である。



ねばり

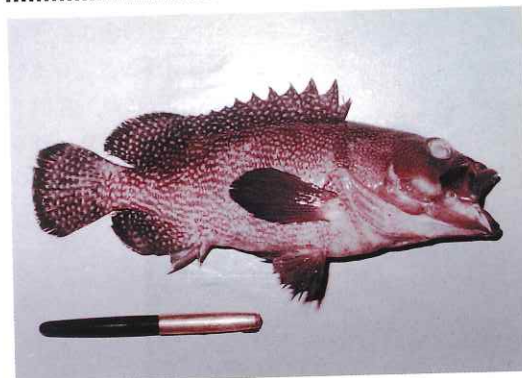
シロブチハタ

*Epinephelus maeulatus*

ハタ科マハタ属

分布：南日本：～インド・西太平洋域

浅場の夜釣りによくお目にかかるハタで、黒褐色点が密布し、背鰭の後方部に淡色部がありその前後は黒色であり、50 cm ほどになり、美味である。



ねばり

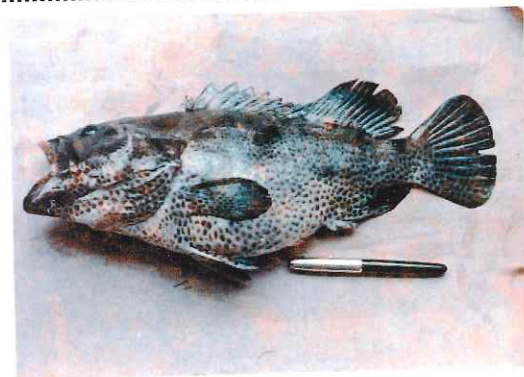
ナミハタ

*Epinephelus ongus*

ハタ科マハタ属

分布：琉球列島：～インド洋

体や鰭には多くの白色点が密布し、これらは波状に連なり、成長するにしたがって、白いまだら状の斑点が出現する。10～20m ほどの浅場で釣れ、40 cm ほどになり、美味である。



ふわたねばり

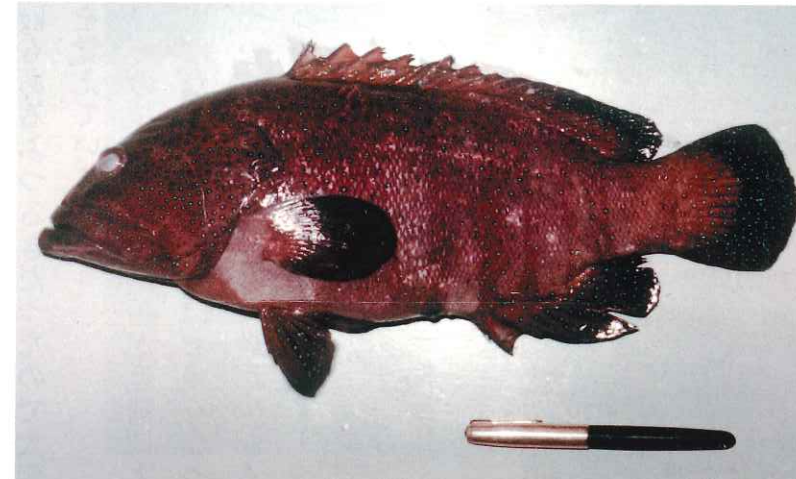
ヤイトハタ

*Epinephelus malabaricus*

ハタ科マハタ属

分布：琉球列島：～インド洋

夜釣りではしばしば釣れる魚であったが、めっきり姿が見られなくなった。さんご礁の 20～40m の破れに生息し、60 cm ほどになり、美味である。熱帯域では 150 cm ほどになるといわれる。方言名は腹が大きいねばりという意味である。



くるねばり

アオノメハタ

*Cephalopholis argus*

ハタ科ユカタハタ属

分布：南日本：～インド洋

体は暗褐色で青色斑が密布している。さんご礁の浅場でよく見られる魚で 30～40 cm ほどになる。美味である。



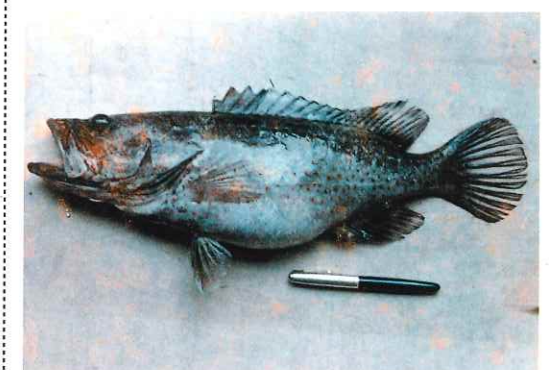
たばねばり

ツチホゼリ

*Epinephelus cyanopodus*

ハタ科マハタ属

体高が高く青灰色で暗褐色点密布し、成魚では暗褐色斑が点在するようになる。湾内の浅場の岩礁で釣れるが 60～70m の深場では昼間でも釣れる。70 cm ほどになり美味である。



ねばり

アズキハタ

*Anyperodon leucogrammicus*

ハタ科アズキハタ属

分布：琉球列島：～インド洋

さんご礁域の浅場で釣れる魚で、アズキ色の赤色斑が散在する。40 cm ほどになる。身は軟らかく、ハタ科の魚にしては味はまあまあである。

ねばり（ハタ）の仲間は、奄美の魚の王様といわれる「赤じん（スジハタ）」を筆頭に非常に美味で漁獲も少ないことから、市場の価値も高い魚になっています。